

V. 特記事項

1. 桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室

「桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室」は、昭和 23(1948)年に市ヶ谷の東京家政学院内に開設され、本学の礎となった。現在は日本全国の 28 教室に、年少から高校生までの約 2,000 人が在籍している。桐朋の音楽教室における教育は、子供たちの感性を育て、さまざまな形でその才能を開花させることを目指しており、既存のメソッドに当てはめることなく、子供たちの可能性とその成長過程に合わせた教育を行っている。

音楽教室生を対象とした「全国ジュニアピアノコンチェルト・オーディション」を開催し、オーディション合格者が大学生等から選ばれたソリストも出演する「桐朋ピアノ・ガラコンサート」でオーケストラと共演する機会なども設けている。

また、音楽教室の在籍生以外も参加できる講習会として、「ヴァイオリンセミナー」や「ピアノマスタークラス」を開催しており、大学教員等のレッスン受講や成果発表コンサートへの出演もできる。その他、平成 26(2014)年度から「全国ジュニア音楽コンクール」を開催しており、令和 4(2022)年度は、ピアノ部門及びヴァイオリン部門は小学生低学年から高校生までの 4 部門、作曲部門は小学生高学年から高校生までの 3 部門で開催され、84 人が参加した。

2. 学校法人桐朋学園アリオン江戸音楽振興基金

才能ある若手音楽家の助成や＜東京の夏＞音楽祭などで日本の音楽文化の発展に貢献してきた【財団法人アリオン音楽財団】が平成 25(2013)年 3 月末日をもって解散したことに伴い、学校法人桐朋学園でその残余財産等を引き継ぐこととなった。それ以後、桐朋学園では、若手音楽家への助成として＜アリオン桐朋音楽賞＞を運営し、また、音楽評論を広く社会に発表し、音楽文化の質の向上に貢献することが期待される優秀な個人に対しての＜柴田南雄音楽評論賞＞の運営を行っている。

＜アリオン桐朋音楽賞＞は、選考委員の推薦により将来の活躍が期待される有望な新人音楽家（対象：20 歳以下のピアノ及び弦楽器専攻生）を選出し、本賞に 60 万円、奨励賞に 30 万円が授与されている。

＜柴田南雄音楽評論賞＞は、作品の公募（演奏会批評 2 編、音楽時評もしくは音楽評論 1 編）により行われ、本賞に 60 万円、奨励賞に 30 万円が授与されている。

3. 桐朋学園音楽部門同窓会との関わり

「桐朋学園音楽部門同窓会」は仙川キャンパス内に同窓会事務室を設け、同窓生を支援する組織として運営されている。本学の同窓会の特色として、入学時に会員資格が得られることがある。楽器を習いたい学生生徒等と同窓生をマッチングする「生徒紹介サービス」や同窓生が開催するコンサートの後援名義貸与、同窓会会員によるコンサートの開催などが行われており、在学時から卒業生との結びつきができる機会ともなっている。中でも平成 24(2012)年 10 月の 60 周年記念コンサート「指揮者の祭典」、令和 4(2022)年 11 月の 70 周年記念コンサート「グランド・コンサート～TOHO Next Legend～」(いずれもサントリホールで開催)などは、音楽界からも注目を集めるコンサートとなった。